

NEWS

特定非営利活動法人 **メイあさかセンター**

メイ(MAY)文庫
つづしん

No.34

2005年12月30日発行

試みとチャレンジ

認知症の方々と共有する時間

(独立行政法人福祉医療機構助成事業)

自宅開放からスタートした、『小さな集い』で、認知症の方・家族もボランティアや専門職も一緒にいい時間を共有した18年前。以来、公民館に移り、次には並行して自前の民家を借り・・・いい時間を過ごすチャンスが増えました。

朝霞市独自の介護予防観点での『高齢者通所サービス事業』に仲間入りしました。ここでは、さらに多くのボランティアの力や、高齢者相互の知恵の交換で、認知症の方も話し合いの輪に入り、生活習慣のリズムが戻るなどよい結果を出し、一緒にステージでの発表や贈り物のプレゼンターもするようになりました。

2004年京都を会場に国際アルツハイマー病協会第20回国際会議が開催された際の、認知症当事者の発表は大きな波紋を投げかけました。メイあさかセンターでも、長年の、ボランティア活動体験を集積するとともに、小規模ながら全国的なアンケートや訪問調査をして、埼玉県立大学野川教授のご指導を受けながら、下記のテーマをまとめて提言を試みます。

ミニデイサービスに於ける
認知症のケアプログラムの
開発 (男性篇)

療育音楽を楽しむ会

朝霞市社会福祉協議会とともに

高齢者を中心に10数年間東京ミュージックボランティア協会のインストラクターを迎えて月例会でリハビリテーションと仲間作りに、認知症の方も心身にハンディキャップを持ってる方も、み～んなが仲間として効果を出してきました。発表するチャンスも年々応援者が増えています。社会福祉協議会が取り組む、週末の多彩なプログラムを開発して、心身障害児・者の社会参加の場作りをということに添い、7月から第四土曜日を充当・「小さな集い」の高齢者も一緒に療育音楽を楽しむ会を社会福祉協議会と共催で実施してきました。

(朝霞市地域保健福祉活動振興事業補助事業＝療育音楽で居場所作り・年齢・立場を超えて協働)

認定 NPO 法人申請・・・国税庁へ

12月26日(木)

昨年からパブリックサポートテストを、暫定法律に基づいて、15・16年度について試算。8月4日(木)に一度ご指導を頂きに国税事務所を訪ねました。以来こつこつと詳細を求められる報告書類を丹念に作成して、やっと正式申請書を提出しました。

大変な作業ですが、当法人も経営状態をつぶさに考察する機会と捉えて担当者も努力中です。

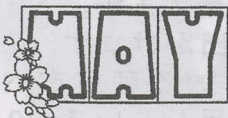
発行 特定非営利活動法人メイあさかセンター (MAY Asaka Center)

住所 〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-7-17

電話 048-468-6972 Fax 048-467-7699

URL <http://www.mayasaka.net> E-mail mayasaka@mayasaka.net

郵便振込 00130-9-114311 特定非営利活動法人メイあさかセンター【会費・カンパ】



朝霞から世界へ 世界から朝霞へ 生涯学習でいきいきと



ミニデイサービス・ヘルパー日誌より

○ 月○日（水曜日）雨

囲碁サークルの方が見えた時刻は、雨脚がひとしきり強くなっていました。

玄関に入って来られるのを見られてた S さんは、私の手からタオルをとり、早速、ボランティアさんのジャンパーの滴を拭いてくださいました。やさしさに、ボランティアさんも感激してました。

○ 月○日（水曜日）晴れ

天気予報では曇り・気温も低いでしょう・・・ということだったが。快晴の小春日和で暖かく幸いでした。

何日も前から楽しみにしていたハイキング！センターを早くに出発してカフェテラスのパン屋さんで、各自がそれぞれ好き好きにパンを購入し、無料のコーヒーを頂ながら話に花を咲かせて・・・滝の根公園を散策して、のんびりと秋を満喫しました。S さん・N さんそして日ごろ運動不足の方々が安眠できるように祈っています。

○ 月○日（日曜日）晴れ

利用されている方のケアプランを立て直す際に、活動でマレーシアへ出かけている代表理事の代理で、ケアマネージャーとご家族・関係者と同席し、ミニデイサービスのかかわりをプランに位置づけられている喜びを感じました。



見学・実習・体験者が新しい風を・・

センターには、国家試験を前に、学校からの派遣で単位を取得するための実習に見えることがあります。

（埼玉県立大学社会福祉学科・ 国立秩父学園 附属保護指導職員養成所）

一日中、ミニデイサービスで同じ時間を共有して、多様な人々の出入りに・認知症の方々の活き活きとした参加に、感心していかれます。

高校生もインタビューに訪れて、認知症の方々へも積極的にアプローチしていただきました。個々のインタビュー時に、通所者は、うれしそうに笑顔で答えられて、若さをいただいて、楽しいひと時が流れました。テーマが、「NPO 法人の運営について」という、難しいものでしたが、詳細にわたって事前学習を確実に受けていたので答えやすかった反面、複雑な内容を解りやすくということに苦労しました。夏休みの宿題だったということで。レポート提出まで何度も何度も電話や訪問で調査を重ねたのに対応して、私たちも勉強になりました。このような若い方々が NPO について学びだしていることは、日本の NPO 活動に光明を見出します。

東京の女子高校に通学するお二人は、小学校時代は、朝霞市在住でしたので、「絵を通じての友好」の国際友好賞状を大切にしているということでした。



パソコンのボランティアの方も同席 インタビューも、的を得て

これから

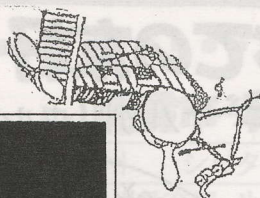
1 月は 10 日（火曜日）から始まります。

早速、“囲碁サロン彩霞”の方々がボランティアで見えます。

手作り品のプレゼントに出かけます。

順番に実施している朝霞市内介護保険事業者を利用している 90 歳以上の方へ贈ります。

1 月 18 日（水曜日）シンポジウムに合流
コミュニティセンターへ出来るだけ多勢のご参集を。



小さな集い 月例会

療育音楽で仲間作りと

リハビリテーション

第三木曜日 中央公民館ほか



ギター・フルート・キーボードの応援
後列合唱の応援をいただいて・・・



“朝霞いきいきふれあいひろば”でのデモンストレーション



日帰り研修・森林公園ほか



パソコン教室（4名が修了）修了書を手にもつ・最初の方



月例会は“グループ猫の手”＝狩野代表が昼食を作って、あとかたづけは全員で

12月で233回の例会を実施しました。東京ミュージックボランティア協会から、池本幸子インストラクターを派遣していただいて10年近くになります。92歳が最高の参加者です。

小さな集いは今年で満17歳です。

年々楽器の種類も増えて、高齢になっても、参加者は新しい楽器に挑戦しています。大正琴を持ち込む方・フルートでのボランティアをされる方も、インストラクターのご指導の下、リズム・呼吸法・発声と療育音楽のメソッドで元気になり、アンサンブルも楽しんでいます。

月例会に参加してさらにミニデイサービスにお出かけになれる方も多く、お話も弾みます。そして、女性学級（朝霞市教育委員会助成事業）のメイあさかセンター学級生として参加される方もおります。

朝霞市社会福祉協議会と共催の「療育音楽を楽しむ会」へ協力参加しています。

介護保険〈要支援～要介護度3〉を利用していらっしゃる身体障害の方・認知症の方々も・・・みんなが仲間で役割分担をしています。ときにはステージに、ときには手作り品を贈呈するプレゼンターに・・・国際交流の食事会にも参加と、おいに社会参加のツールとなっています。

これから

- ❖ 1月18日〈水曜日〉シンポジウム参加
- ❖ 19日〈木曜日〉第234回例会
新年お楽しみ会
- ❖ 介護保険事業者を通じて手作り品プレゼントに
- ❖ 1月28日 療育音楽を楽しむ会
- ❖ マレーシア理解シリーズ公民館・公共施設を巡回しますのでお手伝いを期待しています。

日本へ 1,562 点提供

絵を通しての友好・マレーシアと日本の児童

マレーシア ペナン州・スランゴール州(ウルスランゴール KKB・ゴンバ)・サバ州

津波被災者への奨学金を手渡して
PEKSAHABIBAN MESKAM ALUI LUKISANペナン在住日本人留学生
なので、いつも

ペナン州 ペナン州教育局・ペナン州立図書館・ペナン教師美術協会・メイあさかセンター

第35回 5月12日・20校*朝霞市小・中学校の浄財・津波被害者への奨学金贈呈式

第36回 10月6日・20校参加

第11回展覧会 6月13～26日(州公会堂・州立図書館=7,000人以上来場)

参加3,000名から300点を選抜日本の作品100点と共に展示。

開会表彰式には、ペナン日本人学校からも児童代表が出席。*多様な方法で予算不足を補填・朝霞市の2企業からも直接展覧会に寄付で支援。会場ごとに、中・高校生と教師が当番に入り大助かり。設営・搬出も生徒が手伝っている。作品のレベルも上がりペナン州中の90%の学校が参加するまでになった。教育局長・指導主事も6代変ったが、継承されて充実して来ている。スーベニアカタログも年々内容が充実。頒布で資金にプラス。展覧会・交換会に総領事もご臨席。

*スタディツアーを中止にして、展覧会合流と高齢者施設見学を計画・NPO 立の施設を見学“寄付の文化”が定着しているマレーシアへ感心して帰国。



クアラルンプール・首都

順調に復活しました。

第35回

展覧会を実施することで、この1～2年模索してきたが、基本の交換の運びがスムーズでないことを重要視。10月はじめに、指導主事と共に数校を訪問することにして第35回の作品を託して帰国。交換訪問学校を選び準備して頂くことにした。

第36回・・・しばらくぶりの学校訪問！

10月4・5日と二日間に亘り、指導主事の運転する車に代表理事と尾池理事が同乗し、6つの学校を訪問した。マレー系・中国系・インド系と人種も言語もしっかり網羅して訪問。5日はすでに断食月の初日であるにも拘らず、各学校が日程調整をして下さった。選ばれた学校は、しっかり交換の作品を準備してくださって、校長自らが学校をご案内して下さいました。常夏の国で、公立小学校で教室に冷房が入っていて驚かされた。他の小学校に比較して一クラスの人数は多かったが・・・日本は夏休みがあるから・・・とつい考えてしまった。訪問した学校の佇まいが実に美しく、手をかけている充実さを見た。全国コンクールもある由。

ゴンバを訪問ミッション



スランゴール州(2地方教育事務所)

第34回 3月29日

ミニ展覧会を設営し、各学校代表各学校で展示された日本の作品を専下イベントホールに展示し、一般公開する女性が一時帰国されていたことで行、簡潔な表彰式を含めて会場に居と日本語を楽しめていい時間だった。

第35・36回 10月7日 (財)自

断食時期にも拘らず、地方教育事務所組んだ。① 民族別に祭りの絵画作

② 日本からの過去の絵画

③ 全寮制選抜中学校2校

④ 2000年メイあさかセン

導主事)を招いて、『絵を

について、ミッションの

ミッションの構成・(地方公務員海外

県・市・町

国内にて3日間の事前研修を実施修するコース。メイあさかセンターと、という計画だが、最も歴史を持つペナということで首都近郊のゴンバを選ん所管内学校と、教育省直轄の選抜中無であったが、メイあさかセンターが法人の国際交流亭でマレーシア語を教教育事務所が答えて次第に連携が進はNGOが現地で取り組む姿勢やサポートが寄せられている。この協働

児童・生徒絵画交流.....2005 マレーシアへ1,492点提供

ペラ州・首都クアラルンプール 朝霞市・和光市・さいたま市・東松山市の学校

は、マレーシア語が堪能
どもたちが、お話しに...



コタキナバル日本人学校児童



州立図書館ランチ

その1) ゴンバ

児童が一堂に絵画コンテストを実施。事務所が借用し、スーパーマーケット地中での行事。日本へ留学して通訳に入り日本語と2カ国語で合わせた人々には、日本の児童画。表彰式後交換会を行った。

治体国際化協会ミッション受入れ

事務所はお願い以上の受入れ態勢を作品作成コンペ・テーマごとに。

作品展示

絵画作品提供とパフォーマンス参加の招聘で来日された校長〈元指通じての友好と学校教育への効用〉質問に答える。

遣研修東南アジア派遣コース) 10名

職員・研修所職員・在シガポール職員、1日からマレーシア・ベトナムを研究アンダーパートとの取り組みを視察とシ州までは移動時間が取れないと。教育省・州教育局・地方事務所学校は一緒に行事を持つ接点が皆しくする、選抜中学校の教師〈当えた元留学生〉との熱意に、地方人である。ミッション参加者からアンダーパートの協働に感心されたコは、他の州にも波及してきた。



高齢者が作ったクヌ玉も飾って会場では、作り方講習も

サバ州 シピタン町 州都クアラクバル 5年記念展覧会

(サバ州教育局・サバ州立図書館・在コタキナバル日本国総領事館・シピタン地方教育事務所・州立図書館シピタングランチ・コタキナバル日本人学校・メイあさかセンターとの協働・(財)石橋財団が支援)

① シピタン地方教育事務所管内 (於: 図書館)

人口4~5万人で、地理的に広範囲なので、全学校から来場可能にと校長会で合議、距離に比例配分し交通費補助をメイあさかセンターが出し、3時間もかけて作品提供者を校長先生が引率して来場。6日間で1,500人が来場。作品は、図書館と地方教育事務所へ寄贈。

② コタキナバル統合教育事務所 (コタキナバルプナン・トアラン)

於: 州立図書館新施設 3地区を統合管理下に、かなり広範囲な取り組みとなった。作品も104点と多く集まったが、交通の便も悪いこともあり入場者数は小さな町シピタンよりも少なかった。日本人学校も開会式のオープニングで津軽ジョング踊りで花を添えてくれた。この会場は、昨年同様に日本のT女性が自前の渡航費で応援に駆けつけて大活躍。作品は図書館に寄贈

③ 5年記念スーベニアカタログ発行

2カ国語で編集したが、はじめの計画の記念誌が、2カ国を超えて編集が至難だったこともありスーベニアカタログとなった。1987年にスタートしたプログラムであるが、マレーシア内で2ヶ国語でのスーベニアカタログの発行は初めてとなった。(サバ州では、この会場が19番目となった。)・・・石橋財団の助成金での支援が今年で一応終了するので、約束の5年目ということで、サバ州政府もスーベニアカタログほかにも今年から予算措置をして臨んだ展覧会だった。(サバ州は、尾池敦之(在サバ州)が仕事の傍ら全面的に代表理事の代行をする)

ウルスランゴール地方教育事務所

クアラクバル

3月29日 訪問

130点の作品を受領するが、氏名がなく保管中

(事務所内で作品を交換し、担当部長と担当者とは今後について確認し合う。)学期の時期が異なることでかなり難しく、お互いが目的や方法を理解していること・必要なプログラムであることを確認し合って、随時連絡を取り交換することに決定。

10月5日 訪問

日本の作品を手渡し。後日ご連絡いただくことに。

ペラ州 (タイピン市) ペラ州立図書館・ペラ馬日友好会・在シ日本国総領事館・メイあさかセンター

6月28日~7月1日

展覧会に備えて、日本からの作品をホワイト額縁に挿入するなど、ペナン展覧会後、移動が一日早くなったため代表理事一人での準備は、綱渡りの厳しさがあつた。

ペラ州では、今年から心身障害児・者の作品が参加。教育事務所との連携が移送費用の関係で不成立だったので、会場まで学校単位での来場がなかった。養護学校は自校バスで来場、ゆっくりと鑑賞。設営も表彰式もヘッドクォーターから遠征しての設営なので大変。メイあさかセンターは、代表理事・尾池理事と代表理事の知人・かつて日本へ留学していた若者(ペラ州出身でクアラルンプール在住)が、休暇をとり参加。また、千葉県出身ペナン州にある国立大学大学院に在籍する女性も参加して4名で対応。二人とも、通訳も兼ねて重要な役割を担ってくれた。

幼稚園教諭を対象に折り紙教室と簡単な日本語教室・浴衣の着付けと盛りだくさんの行事をし、行事を通じて日本の作品を多くの方々に鑑賞して頂くことを目指してのペラ方式である。ほとんどの直接経費をペラ州が負担しているので尊重しながら添うている。・・・冷房のないシティホールでの設営はきびしい。入場者数は1,500名

協働・・・トピックス・・・協働

療育音楽を楽しむ会

朝霞市地域保健福祉活動振興助成事業

7月23日開始

療育音楽で居場所作り・年齢・立場を超えて

当法人が、長年にわたり認知症の方も40代50代更に90代まで、みんなが仲間で音楽を通じてリハビリと仲間作りをして、多くの合唱グループや楽器のプレーヤーにもお世話になってきました。発表時には中学生も大学生も・朝霞市合唱連盟の方々にも応援出演していただきました。長年、もっと多くの方々と、日本で開発されたメロッド『赤星ミュージック＝療育音楽』を普及して



女性学級

10月22日学級開始

朝霞市教育委員会助成事業

2007年地域に還るシニアと共に

積極的な・多様な人生を

認知症ケアプログラム開発〈男性篇〉の事業が大規模な取り組みを必要としていること、マレーシアとの間の事業の充実期に、作業のパソコン化を予定していたこと、今日のスタッフ体制では、女性学級を長期スパンで設営管理が至難であること・・・etcで、助成金申請を中止することに決まっていたが、教育委員会のお勧めもあり、更に当センターのNPO法人としてのステップアップ課題と今日、注目の課題＝2007年問題＝が合致していることから短期間集中型の学級を実施し、多くのNPO法人や多岐に渡る体験者を網羅したプログラムで学習できました。基調講演も解りやすく好評。学習者が更に学びを連鎖させてほしいと思います。ワークショップもさまざまな立場が明確に出て学びを深めることが出来ました。概ねは難しい学習ながら学級生は定着していました。

回	学習内容	講師	学級生
1	団塊世代が地域に還るとき・・・	野島正也教授	16
2	多様さ一起業 創業 NPO 法人設立者・リカレント教育	16	
神保代表取締役 株式会社アフィサビス 増田代表 (NPO 法人障害児放課後クラブ代表) 坂村代表 (NPO 法人障害者も地域で働くヒートタイム) 山田さま (福祉ボランティア・会社員)			
3	多様さー社会福祉協議会・新川自治会長・男性介護者(青木) 海外での体験(本田) 公民館活動一筋(森)		10

第三土曜日午後 社会福祉協議会と共に

地域で大きな輪になればとチャンスを期待していました。今年は、念願の第一歩がスタートできました。朝霞市の助成金と当センター・参加者・社会福祉協議会の費用で賄っています。毎月30名前後が参加してきました。来年は、共同募金の受配について申請して、1月19日ヒヤリングを受けます。今年は大きな・大きな太鼓も購入しましたが、楽器の大半を当センターから貸し出して楽しんでいます。



インストラクターも“高齢者と若者と”のプログラムに工夫！

認定NPO法人申請

12月26日

あなた様の寄付は、寄付金控除などの対象！？

認定NPO法人制度は、国税庁が、租税特別措置法に基づき、一定の要件をクリアして国税庁長官の認定を受けた法人が名乗ることが出来ます。個人の寄付金は、一定の条件を控除した金額を総所得金額などの合計から控除することが出来ます。法人が行った寄付行為についても、特定公益増進法人に対する寄付金と同様に取り扱われます。メイあさかセンターは、12月26日に申請。これから、調査・ヒヤリングを受けて適正であれば認定されます。全国25,000法人のなかの38法人のみがクリアしている制度です。私たちがクリアできるように！当法人の年度末までに答えが出るよう期待し、全国で行っている、認定制度要件緩和へ向けての運動に同調して学習もしています。後日結果をご通知いたします。結果に関わらず、当センターへのご支援をお待ちいたします。

回	学習内容	講師	学級生
4	コミュニティビジネスって	柴田郁夫教授	12
5	話合い	相互学習	12
朝霞市内に事務所を置くNPO法人が、2桁十数法人になり、個々にミッションを持ち活動していますが、近い将来に連携できることも期待し、2法人をお迎え。経営状況も学びました。コミュニティビジネスの考え方も学び団塊世代の雇用の場になり得る組織作りを痛感。			

第3四半期までの実績

協働・・・トピックス・・・協働

5 月 (ミニデイ 9 回実施)

総会準備・・・理事会・監事監査・資料作成・通知
絵を通じての友好

代表理事マレーシアへ渡航(作品持参)(6～16 日)

サバ州実行委員会

ペナン州第35回交換交流

朝霞市小・中学校で募金した義捐金贈呈式

(ペナン州津波被災小・中学生へ奨学金として)

第11回ペナン州展覧会作品審査会

埼玉県国際 ジュニアサッカー大会朝霞市体育課と打合せ

ネットワークでの行事の実行委員会・定例会(5団体)

朝霞市地域福祉計画策定委員会代表理事出席

6 月 (ミニデイ 13 回実施)

定期総会第 5 回 長時間かけて、将来構想も意見を出して

絵を通じての友好 代表マレーシアへ渡航(9～7月7日)

ペナン州展覧会・ペラ州展覧会実施

交流学校へマレーシアの作品を校内展示用にお届け

朝霞市図書館祭りに展示

認定NPO法人に関して国税庁ヒヤリング

朝霞市地域福祉策定委員会代表理事出席

全国女性新聞の取材を受ける

7 月 (ミニデイ 11 回実施)

療育音楽を楽しむ会スタート(社会福祉協議会と共催)

絵を通じての友好

スランゴール州ゴンバ打合せ

第 36 回作品提供依頼・パソコン化試行

上記作品を頂戴に各校訪問

埼玉県国際協力高校生インターンシップ受け入れ

(7 月 27 日～8 月 10 日) 第 36 回作品整理

埼玉県国際ジュニアサッカー大会マレーシアチーム

交流とホームスティ受け入れ(件)

8 月 (ミニデイ 11 回実施)

独立行政法人福祉医療機構情勢事業実践スタート

認定 NPO 法人に関して国税庁訪問

絵を通じての友好 第 34 回 返却作品整理

第 36 回 作品デジタルビデオカメラで撮影・入力管理

さいたまロングスティ協会にて代表理事講演

療育音楽を楽しむ会

中央公民館サマーフェスティバル

小さな集い＝療育音楽発表参加(朝霞市合唱連盟
が歌の支援出演)

マレーシア絵画作品や小さな集いの手作り品を展示
朝霞市地域福祉計画策定委員会代表理事出席

9 月 (ミニデイ 11 回実施)

小さな集い 日帰り研修旅行 看護師による研修

ミニデイで外部講師を招いて手作り研修

療育音楽を楽しむ会

絵を通じての友好(写真・友好賞仕上げと整理

代表理事マレーシアへ渡航(作品持参)(5～26 日)

サバ州にて展覧会と 5 年記念誌発行

(シピタン町および州都コタキナシ図書館で実施)
各小学校へ運動会へ招待される 理事交代で出席
女性学級プログラム等設営準備

(財)自治体国際化協会(クレア)海外派遣研修
東南アジア事前研修にて代表理事講義(大津市)

10 月 (ミニデイ 11 回実施)

女性学級スタート(下旬につき2回のみ終了)

絵を通じての友好 代表理事マレーシアへ(2～8日)

第36回作品お届けと交換・・・ペナン州・ペラ州・
スランゴール州・首都クアラルンプール)

10 月 7 日(財)クレアによるミッションをゴンバ地方

育事務所が受け入れてメイあさかセンターと共催

野田市国際交流協会に作品とマレーシアグッズ貸出
小さな集い

ふれあいの集い(社協主催)に参加・発表と展示・頒布
療育音楽を楽しむ会

授 業

朝霞第六小学校総合的な学習の時間・・・3年生

城西大学経済学部国際ボランティア論・・・NGO ネット

朝霞市地域福祉計画策定委員会代表理事出席

11 月 (ミニデイ 11 回実施)

小さな集い

☆合唱祭に出演 合唱連盟が支援出演

☆朝霞いきいきひろば 展示と療育音楽出演

療育音楽を楽しむ会

女性学級(後半の 2 回実施)

埼玉県国際協力国際フェア・・・バザーと展示

絵を通じての友好

第 36 回 マレーシア作品お届け【中学校・小学校】

赤い羽根卓上募金終了

授 業 第九小学校総合的な学習の時間・・・5 年生

埼玉 NGO ネット国際協力市民講座開始

代表理事富山市へ施設訪問

12 月 (ミニデイ 11 回実施)

女性学級 2 回実施閉講

埼玉県国際協力高校生インターンシップ発表会

療育音楽を楽しむ会

19 年度国立美術館展覧会企画に備え平泉会にマ
レーシア作品貸出し

発 表

さいたま NGO ネット国際協力市民講座で代表理事発表

朝霞市地域福祉計画策定シンポジウムで代表理事
シンポジストに

駐日マレーシア大使館招待 年忘れパーティ

代表理事仙台市へ施設訪問

パソコン教室を毎月 4 回実施

対象が高齢者なので、休まずに熱心でした。

木村講師は、技術も時間もまったくの無償提供で

独立行政法人福祉医療機構助成事業

ミニデイサービスに於ける認知症ケアプログラムの開発〈男性篇〉

シンポジウム

～地域で安心・認知症の理解と支援で～

1月18日〈水〉1:30～4:15

朝霞市コミュニティセンター集会室

主催 NPO 法人メイあさかセンター

協力 埼玉県立大学・(社)呆け老人をかかえる家族の会埼玉県支部

後援

朝霞市・朝霞市民新報社・朝霞でいきいきネットワーク(介護予防)・NPO 法人さいたまNPO センター

『小さな集い』を始めて、17年 常に認知症に関する
ことに取り組んできました。たくさんの出会いをしながら、男性で認知症になられた
方々の生活や共に過ごす時間を、気にかけて体験や
見学も多くしてきましたが、パソコンやデジタルカメ
ラ・テレビ・携帯電話など・・・ひとこらに比べて
多様なツールで新しい過ごし方があるのではないだろ
うかと考えました。

ミニデイに参加されている男性も若年アルツハイマー

症の方にしても、日々楽しい時間を共有しています。
ボランティアの協力によって、囲碁をし、料理
をするなどで、日常会話が戻り・感情表現も自然に
なっていることから、データを収集をし、提言
していこうと考えて助成金をいただきました。全国
へのアンケート・施設訪問・シンポジウムと3段
階でまとめてみようかと思いました。

シンポジウムの会場へぜひお越しください。

お一人でも多くの方が、全国情報も含めて理解者に！

現 況

5月～年末センター来場者数延べ 2,478 名

2005年12月25日現在

項 目	人 数	内 容	特 記 事 項
会 員	95 名	92 個人 1 団体 2 法人	個人 (一般 80 名 高齢者 10 名 学生 2 名)
賛助会員	154 名	20 名 カンパ者 82 名 物品提供者 52 名 特技提供者	7 名がカンパを複数回数しています。
事業参加者	910 名	213 名 小さな集い 月例会 (延べ) 348 名 小さな集い ミニデイサービス 51 名 療育音楽を楽しむ会 153 名 発表会 (4 回含ボランティア) 19 名 日帰り研修会 66 名 女性学級 60 名 パソコン教室	(171 名 社会福祉協議会参加者) — サマーフェスティバル 46 — ふれあいの集い 54 合唱隊 34 — 朝霞いきいきひろば 19

あとかき

総会後、駆け抜けた 8 カ月でした。
マレーシアとの交流も一段と深まりました。
介護保険改定・総合的な学習の時間見直し・地域福祉
計画策定・認定 NPO 法人の制度暫定法律と、当法人
が関わる活動に直結することが多く、理事も学習し、

多方面からのご指導と惜しみないご助力で、ミニデイ
サービス及び各分野が無事、年を越せます。センターは深夜
まで明りが点り、活動の準備や舞台作りの要の仕事
を少ないスタッフでしています。法人化 5 年目の残り 4 カ月
を確実に仕上げて飛躍の礎にと祈念しています。(尾)

*ニュースをおいてくださる機関をお知らせくださいませ。